日本WHO協会フォーラム
「うつ病：一緒に話そう」

すこやか大阪21
(いっぽくん)

(公社)日本WHO協会は大阪市健康増進計画「すこやか21」の趣旨に賛同し、「すこやかパートナー」として活動しています。

世界保健デーの今年のテーマは「うつ病」、スローガンは「一緒に話そう」です。

「うつ病」は誰もが陥る可能性のある気分障害です。世界で3億2000万人、我が国では500万人を超える人々（共にＷＨＯ推計）がうつ病により心の苦痛だけでなく、その人本来の能力を発揮できず、又、家族や友人との人間関係の破綻や失業、そして最悪の場合は自殺への道という苦しみを経験しています。　ＷＨＯは、うつ病は当事者を入れて家族や友人などの回りの人々や保健医療の専門家が症状等について一緒に話し合うこと、薬の上手な使い方により、極めて効果的に予防、治療が可能なことを挙げています。

今回、WHOがうつ病を取り上げた背景や日本の現状、一般市民が知っておくべき事柄などについて、精神科医の杉浦寛奈先生にご講演をいただきます。

市民の皆様、職場関係者の皆様、医療関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

■ 講演「世界と日本と自分のうつ病」

東京大学大学院医学系研究科精神保健学
杉浦　寛奈　氏

【講師プロフィール】東京女子医大医学部卒業後、女子医大および横浜市大において精神科医研修を修了。ロンドン大学公衆衛生修士学を取得。フィジー大学医学部、WHO精神保健・物質乱用部、赤道ギニア国立病院に勤務。帰国後、外務省国際保健政策室に勤務し、現在は東京大学大学院医学系研究科博士課程で当事者の自己決定支援を行い強制入院・隔離・拘束を減らすための研究を行い、寿町勤労者福祉協会診療所で精神科診療に取り組んでいる。

●開催日時　平成29年**6月21日**(水)　**13:30～15:30**
（受付開始:13:00）

●会　　場　**大阪駅前第2ビル6階**
大阪市立大学文化交流センター　ホール

●資料代　1000円　　**●定　員**　100名（先着順）

◆申込方法　FAXまたはﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞよりお申込みください。
http://www.japan-who.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=seminar1

後援:大阪府医師会、大阪府歯科医師会、大阪府薬剤師会
（一社）大阪薬業クラブ助成事業

主催:公益社団法人　日本WHO協会

06-6944-1136

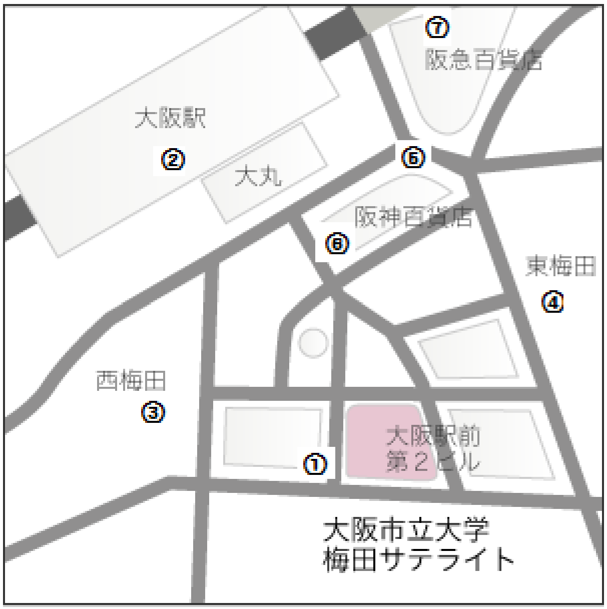
日本WHO協会フォーラムの申し込み

平成29年6月21日　大阪市立大学文化交流センター　ホール

『世界と日本と自分のうつ病』

FAX（**06-6944-1136**）または下記ウエブサイトからお申込み下さい。
http://www.japan-who.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=seminar1

ふりがな ご芳名	
ご所属 （会社名）	
（ご連絡先） ご住所	〒＿＿-＿＿＿＿
電話/FAX e-mail	電話＿＿＿＿＿＿＿＿　FAX＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿@＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ご質問・ご意見等	



**大阪市立大学文化交流センターは
大阪駅前第2ビル6階の
大阪市立大学　梅田サテライトにございます。
（〒530-0001　大阪市北区梅田1-2-2-600）**

最寄駅は

- ① JR東西線「北新地駅」下車、徒歩約3分
- ② JR大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車、徒歩約10分
- ③ 地下鉄四つ橋線「西梅田駅」下車、徒歩約5分
- ④ 地下鉄谷町線「東梅田駅」下車、徒歩約10分
- ⑥ 地下鉄御堂筋線「梅田駅」下車、徒歩約10分
- ⑥ 阪神電鉄「梅田駅」下車、徒歩約10分
- ⑦ 阪急電鉄「梅田駅」下車、徒歩約15分

**公益社団法人
日本ＷＨＯ協会**
〒540-0029
大阪市中央区本町橋2-8　大阪商工会議所ビル5F
http://www.japan-who.or.jp　phone 06-6944-1110　fax06-6944-1136